

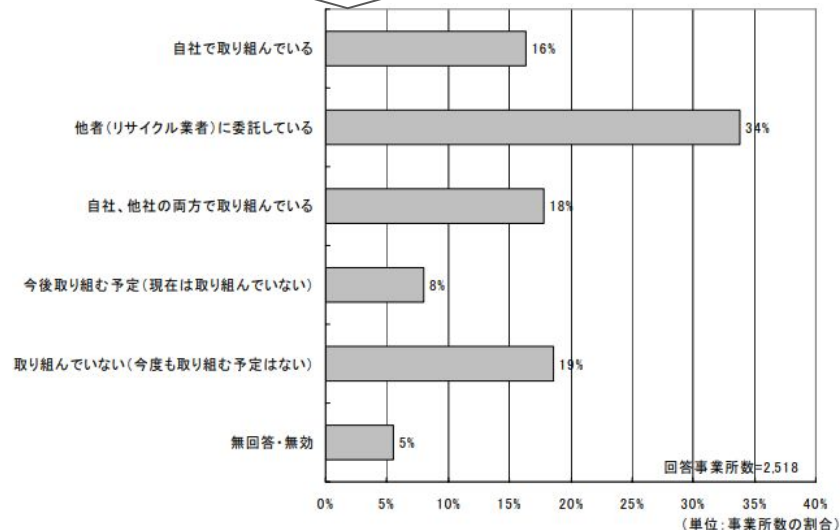
5班

アイデアの背景・問題

・岡山県の中心産業である繊維産業における、脱炭素化を目指したい。

・産業廃棄物の燃焼によって発生する二酸化炭素を減少させるため、産業廃棄物をリサイクルできる仕組みを提案したい。

約68%の事業所が発生抑制、循環的利用へ取り組んでいる。

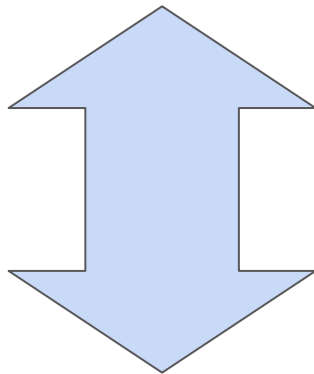


産業廃棄物等の発生抑制、循環的利用状況

環境問題を意識している企業は多い

アイデアの概要

産業廃棄物をリサイクルしたいと思っている企業と



岡山県の繊維企業

(学生服、ワーキングユニフォーム)とのマッティングアプリ

アイデアの図解化

現状

衣服の大量廃棄によって
CO2の排出量も多い。

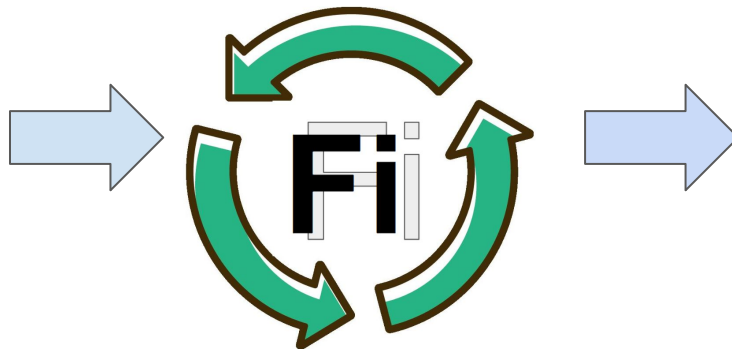
岡山県は繊維産業が盛ん。
(学生服出荷額、出荷数量全国 1位)

再生利用できないものは、
破碎・焼却してから埋め立てるため多くのCO2を排出する。



解決策

廃棄物をリサイクルしたい企業と、リサイクル素材を求めている繊維企業(学生服etc)とのマッチングアプリ



目指す姿

岡山県を中心産業である
繊維産業における脱炭素化

アイデアの独創性・新規性

回収インフラの確立

既存のリサイクル方法の中には企業が直接取り交わしするサービスは存在しない

廃棄側のメリット

処理費用削減, 労力・時間の削減

既存の産業廃棄物のリサイクル方法

1. リサイクル業者による回収 → 費用が掛かる
2. 産業廃棄物の収集・運搬 → 人時がかかる

生産側のメリット

リサイクル繊維の確保

リサイクル繊維の供給不足, 枯渇問題

- ・ペットボトルリサイクルの繊維化廃止
- ・リサイクル化の加速

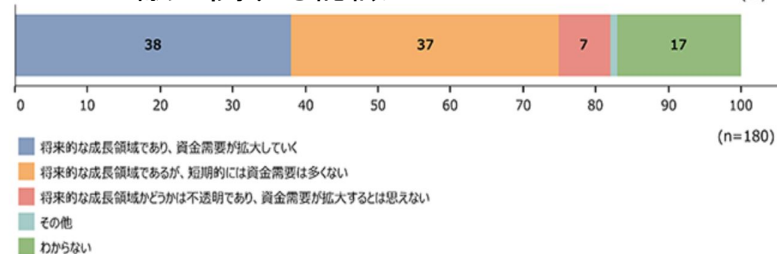
アイデアの実現性

3つの観点

- ・ **少ない費用**で実現できる。
- ・ アプリを通してやり取りするので **手間が少ない**。
- ・ **環境問題に取り組みたい**と考えている企業が多い。

アプリの実現性は高いと考える。

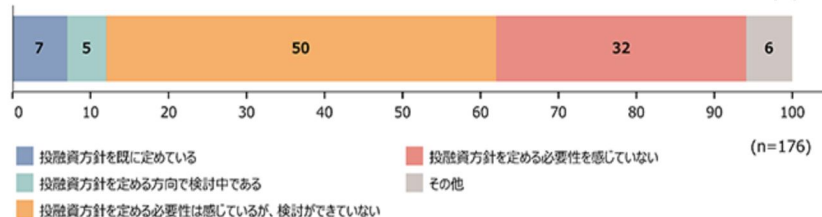
ESG金融に関する認識



資料：環境省「2019年度ESG地域金融に関するアンケート調査」(2019年9月)

(注)都市銀行、大手信託銀行、政府系金融機関、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫を対象とした調査。

環境関連の投融資方針の策定



資料：環境省「2019年度ESG地域金融に関するアンケート調査」(2019年9月)

(注)1.都市銀行、大手信託銀行、政府系金融機関、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫を対象とした調査。

2.未回答を除いて集計している。

環境への貢献度

・温室効果ガスの排出量を削減

マッチングにより廃棄物を衣類へと再生し、**焼却処分量を減らす**ことでCo2の排出量削減に繋がる

化学的にリサイクルされたポリエステル繊維を衣類に使用することはバージン・ポリエステルと比較して**水の使用量を58%、二酸化炭素排出量を35%削減**

・海洋汚染問題へ貢献

繊維くずやポリエステル製造・廃棄で発生するCO2排出の削減に加え、ペットボトルの不法投棄などの**海洋汚染問題へも配慮**(海の生態系保護)

岡山の特産業である繊維業と絡めて脱炭素化に取り組むことができる